

豊潤の里 だより

新年のごあいさつ

木谷自治協議会 会長 西岡達郎

【辰年生まれ】



『新春 祈 世界平和・清廉政治』 この見出しであいさつ文を書き始めていました。しかしながら、新年早々、能登半島で最大震度7の地震と津波が発生しました。さらに翌日、羽田空港で被災地への支援物資を運ぶ海上保安庁の航空機と民間旅客機が衝突炎上事故を起こすという大惨事が続きました。

お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りすると共に、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げたいと思います。

ライフラインが断たれた被災地での助け合いながらの避難生活の様子や事故後400名近い乗客乗員全員が無事に機体から避難できた様子は、テレビでご覧になったことと思います。自分の命が危機的状況にあっても、お互いを信頼しあう人間関係や仕事への責任感について考えさせられました。

『新春 祈 平穏無事の日々と暮らしやすい木谷地域』

さて、我が木谷地域において見出しのことを意識しながらこの1年間を過ごせていけたらと願っています。

① アフターコロナ後の生活

地域の伝統行事を受け継いでいく。(盆行事や神明祭りなど)

木谷小学校の様々な催しものに、積極的に支援・協力する。

② 南海トラフ地震を想定した避難訓練等の充実

令和6年能登半島地震をはじめ過去の大震災に学び、様々な状況に対応できる防災対策や地域づくりを進める。

③ 今かかえている地域課題への取り組み

空き家や耕作放棄地の増加、環境問題、少子高齢化の深刻さ…等々についてお互いに意見や思いを出し合い、地道に解決方法を探る。

皆様のご理解とご協力を本年もよろしくお願い致します。



謎の巨石群と幻の尾首城

～聖地アオギ山と木谷氏の城をめぐる～

妙専寺宝篋印塔保存会 谷村 秀格

郷地区の妙専寺・慶寿院背後の高い山「アオギ山」山頂付近にある巨石群をご存知でしょうか。これは「磐座(いわくら)」と思われるものです。古代では神々は遠い世界にいるとされ、祭祀は山頂などで行われました。聖地一帯を「神奈備(かんなび)」と呼び、神の依り代(よりしろ)である巨石を「磐座」と呼びました。

14世紀中頃、竹原小早川家は「実行支配」した木谷地域に一族を配置、木谷氏を名乗らせました。当時は宗教が政治その他重要な役割を果たす時代でした。木谷氏も領民の人心掌握のため、古くからの信仰対象であったアオギ山の威光を活用したと思われます。

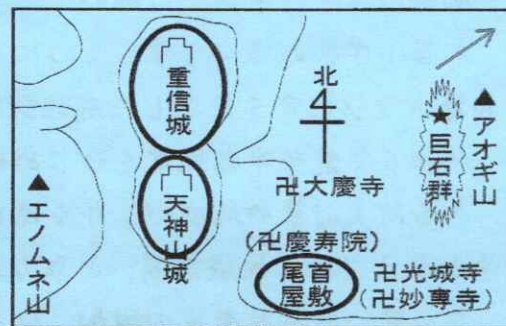
木谷氏はその麓に屋敷(尾首城、尾首は尾根の先端を示す地名)を構え、1351年に屋敷隣に氏神や祖霊を祀る氏寺として光城寺(妙専寺の前身)を創建したと思われます。また妙専寺に残る木谷最古最大級の宝篋印塔(ほうきょういんとう)は、木谷氏の祖霊にあたる竹原小早川家を祀る供養塔と思われます。1384年には主に一族の葬送仏事を行う菩提寺として大慶寺(慶寿院の前身、現在地より約300m北の山腹)を創建するなど信仰の拠点を築き、威信を示すと同時に領土領民の安寧や人心掌握に努めました。

当時の領主は一般的に屋敷背後の山を詰城(防衛拠点)にしますが、アオギ山方面に城の遺構は発見されていません。アオギ山は広すぎるため、木谷氏は屋敷北西のコンパクトな丘を詰城(重信城)とし、南端部分を出城(天神山城)としたものと思われます。

昨年木谷自治協議会により慶寿院前に設置された史跡説明板には、「アオギ山方面に尾首城(山城)がある」ような記載がありますが、それはこの巨石群(磐座)が狼煙台(のろしだい)と伝わることによるものかもしれません。しかし狼煙の事実や人工的石組があったとしても、軍事的防御施設がない限り山城とは呼べません。「アオギ山方面の尾首城」は、聖地を背負っていた木谷氏の威光が見せたまぼろしと思われますが、皆さんはどう思われますか。またアオギ山での神事について情報がある方はぜひお寄せ下さい。



※郷アオギ山山頂付近の巨石群(一部)、古代祭祀が行われた磐座の可能性が高い。(増田典生氏が約20年前に撮影)



※木谷氏の屋敷(尾首城)と城・寺院などの位置関係。木谷氏は聖地アオギ山を背後に人心掌握に努めた。

木谷地域センター主催講座

「手作りミニ門松」で迎春



10名(スタッフを含む)がミニ門松づくりに取り組みました。3本の細い竹の先端をノコギリで斜めに切り、それと松、梅、南天の小枝を太い竹筒の容器に挿し、形を整えてできあがり。市販品とは一味違う門松を飾って新春を迎えました。

部会活動紹介

福祉生活部会



12/18 持久走大会を声援と豚汁で応援
地域の人や保護者、保育所園児が声援と拍手で応援した持久走大会。走り終わった子どもたちを待っていたのは、蛟龍が心を込めて作った豚汁。一口ごとに温かさが伝わってきました。

<木谷地区社協 蛟龍>

12/14 サンタクロースがやってきた
保育所の一足早いクリスマスに、サンタクロースとトナカイがプレゼントを持って訪問。園児一人ひとりにプレゼントを手渡し、かわいい質問にやさしく答え、仲良しになりました。

<木谷地区社協 蛟龍>



木谷の人口(住民基本台帳)	世帯数	人口	男	女
令和5(2023)年12月末現在	685	1423	697	726
令和4(2022)年12月末との比較	+3	-25	-11	-14

ストップ本郷処分場 土こそ命、水こそ命

命を守る闘いから学ぶ学習会

日時 令和6(2024)年 2月10日(土) 14時から

場所 木谷小学校 体育館 ※暖房がないので暖かい服装で、マスクも着用。

講師 岡田 和樹 さん (本郷処分場建設差し止め原告団・世話人代表)

本郷処分場って知っている？

本郷の森の中 水のはじまり(分水嶺)につくられた大きな大きなゴミ捨て場

全国各地からたくさんのゴミが 捨てられるようになってしまった

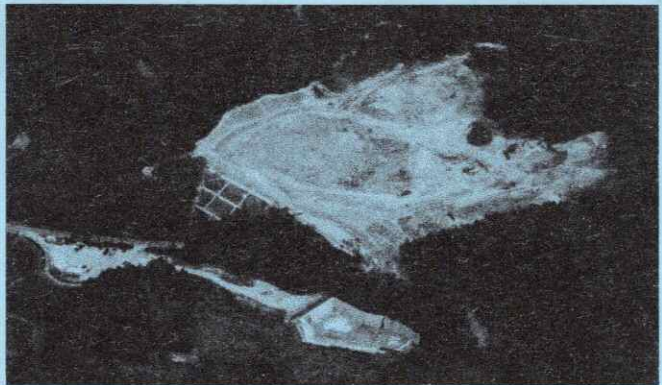
雨がふればゴミの水がしみだしてくる そこにすむ生き物たちにとっては「毒の水」

川に入って 生き物の声を いっしょに聞いてみよう

「たすけて!」と 小さな生き物たちの声が 聞こえてくる気がするんだ

三原市本郷町の産廃処分場を巡る主な経過

- 2018年4月▶ JAB協同組合が広島県に設置許可を申請
- 20年4月▶ 県が設置を許可
- 6月▶ 三原市などの住民が建設や操業の差し止めを求める仮処分を広島地裁に申し立てる
- 7月▶ 三原、竹原市の住民が県に設置許可の取り消しを求める行政訴訟を広島地裁に起こす
- 21年3月▶ 広島地裁が建設や操業を差し止める仮処分決定。組合側は決定を不服として異議申し立て
- 22年6月▶ 広島地裁は組合側の異議を認め、建設や操業を認める決定。住民側は翌7月、決定を不服として広島高裁に抗告
- 9月▶ 処分場の一部が稼働開始
- 23年3月▶ 広島高裁は住民側の抗告を棄却し、建設や操業を認める決定
- 7月▶ 広島地裁が県の設置許可を取り消す判決



主催：木谷自治協議会 産廃処理施設反対実行委員会

ストップ本郷処分場